

新宮山彦ぐるーぷ第2308回

持経宿、平治宿の巡回整備

◇実施日 7月28日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、大森洋、阪口雄二、大江加予子・徳子、畑林清子、生熊千満子、上村和美、西克、高階美根子、

梶野照雄、横山義照(安城市)、坂野良、後藤宣久(大淀町)、末原理奈子(川上村) 16名

一般行事としては久々の持経・平治である。梅雨明け後に続く猛暑で、しばらく自重していたが、平治宿小屋屋根の塗装をするための事前荷揚げが必要なため計画したところ、16名の皆さんから参加申し出を頂いた。



スポーツ公園で



平治宿へ出発



平治宿小屋の清掃

特に今回、横山義照行者(愛知県安城市)からも参加の申し出があった。横山行者は、平成15年と17年の2回、吉野から本宮までを連続10往復する荒行を行った行者さんで、並の行者さんではない。

当日午前9時に下北山スポーツ公園に集合、大人数のため車の確保に苦労したが、何とか収まった。先行した横山行者が落石などを処理してくれたおかげで、一度も車を降りることなく、50分ほどで持経宿に着いた。今日は大江加予子・徳子、畑林清子さんの3名が持経宿に残って小屋や千年松のお堂の整備をしていただく。大江さんから平治宿小屋の毛布を洗濯するので持って帰ってほしい」とお達しがあり、帰りの荷物が多くなりそうだ。



屋外での作業

水場は潤っていた

毛布をまとめる

午前11時過ぎに平治宿に着き本日の作業メニューの皆が手分けして取りかかる。

水場の点検、小屋内外の整理・整頓、志納金の回収やトイレ棟屋根の採寸と小屋屋根の点検などを行い、昼食後は持ち帰る毛布を分担して背

負子に括り持経宿に戻った。



横山さんも毛布を担ぐ 腐食の激しいトイレ屋根 本日の参加者

今後、平治宿小屋の屋根塗装の時期や必要資材の不足などを調整したい。トイレ棟の屋根は腐食が目立つことから、松本君が交換の手配をしてくれるようで、そのために採寸を行った。平治宿水場は完全に涸れていたようだ。
(記：沖崎)

行動タイム

09:00 スポーツ公園→09:45 持経宿 09:57→11:10 平治宿 12:35→13:40 持経宿 13:53→14:48 スポーツ公園